

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年3月6日(2014.3.6)

【公開番号】特開2012-168645(P2012-168645A)

【公開日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-035

【出願番号】特願2011-27652(P2011-27652)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/12 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 6 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月22日(2014.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 6 】

図 2 に示した情報処理装置 1 0 0 は、装置全体が耐タンパ性を有していた。図 1 4 に示したように、情報処理装置 1 1 0 0 は、N V M 1 1 1 0 と、セキュア C P U 1 1 2 0 と、R O M 1 1 3 0 と、R A M 1 1 4 0 と、シリアル I / O 1 1 8 0 と、を含んで構成される。情報処理装置 1 1 0 0 は、装置全体が耐タンパ性を有するのではなく、セキュア C P U 1 1 2 0 のみが耐タンパ性を有している点で図 2 に示した情報処理装置 1 0 0 と異なっている。このように、C P U を含む一部を耐タンパ機能で保護し、その他の機能との通信及び送受信データを暗号化技術で保護する構成を採ることもできる。また例えば、図 2 に示した情報処理装置 1 0 0 を、耐タンパ環境を有する場所に設けて、変数の参照や関数の属性を実行させるような構成を採ることもできる。